

研究への参加協力を同意していただいた協力者の皆様へ

## 高齢発症潰瘍性大腸炎の臨床的背景の解析

### 研究へのご協力をお願い

今回、京都第一赤十字病院では、潰瘍性大腸炎（UC）の患者様における臨床経過に関する後ろ向き調査に関する研究を京都・滋賀・大阪の多施設と共同して実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院で上記診断を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。実施にあたり京都第一赤十字病院医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。また、共同研究機関においても倫理審査委員会の承認を受けています。

### 研究の目的

UCは比較的若年者に多く発症するため、若い世代の病気と認識されがちではありますが、60～70歳代で発症する例も存在いたします。高齢者（65歳以上）・高齢発症（65歳以上）患者様の情報は少なく、特に広範囲な範囲（地方レベルや全国レベル）での情報は非常に不足しております。本研究では高齢発症UC患者様の臨床経過を後ろ向きに多施設共同で解析することで、その適切な治療選択について検討することを目的とします。

### 研究の方法

#### ・対象となる方について

2006年4月1日から2015年12月31日までの期間に京都第一赤十字病院消化器内科にて新規に潰瘍性大腸炎（UC）を発症し、診断・診療を受けた患者様が対象となります。

#### ・方法について

カルテ上の記録を調べ、性別、年齢、内視鏡所見、治療法、病理所見、治療経過などを集計し、高齢者発症の潰瘍性大腸炎（UC）に特徴的な臨床経過について調べます。

#### ・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

### 連絡先

京都第一赤十字病院 消化器内科

職・氏名 副部長 奥山祐右

電話：075-561-1121